

基本方針 3 「もったいない」を大切にすくらし

長期目標 3-1 使い捨てでない、地球にやさしい製品を選びます

10年後の目標

項目	現状値(H16)	10年後(H27)
マイバッグ持参率	調査店舗平均15%	全市30%
食品トレー削減に協力する小売店	—	9店
環境に配慮した小売店	8店	20店

重点プロジェクト① 買い物にはマイバッグを使おう!

使い捨ての多い生活を見直すきっかけとして、買い物にマイバッグを使う運動を展開していきます。すでに、平成17年秋からマイバッグ調査として、持参率や消費者の意識の調査を行っています。マイバッグ運動と同時に、なぜ買い物時に環境に配慮する必要があるのか、どう選べばいいのかなどを伝えて、地球にやさしい買い物を広げます。

重点プロジェクト② 食品トレーを減らそう!

1回使っただけで、廃棄またはリサイクルされてしまう食品トレーを見直し、減らします。事業者と品目について協定を結ぶことなどを実現していきます。また市民にも周知し、理解と協力を深めます。

プロジェクト③ 千曲市版環境に配慮した小売店を増やそう!

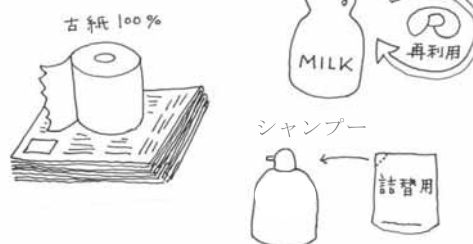
レジ袋削減のため市と協定を結び簡易包装に努めたり、地元農林産物をおくなど、小規模商店でも取り組めるような基準をつくり、環境に配慮した小売店を支援するしくみをつくれます。環境をきっかけに、地域のつながりを取り戻したい、との願いもあります。

マイバッグを持参しましょう



エコ商品ってどんなもの?

たとえば...



市内のマイバッグ持参率はどのくらい?

調査場所	調査総数	レジ袋使用者	マイバッグなどの持参者	併用者
店舗A	1,878人	82%	17%	1%
店舗B	1,145人	85%	14%	1%
店舗C	1,132人	88%	10%	2%

(平成17年10月と12月に、環境基本計画策定市民委員会と消費者の会で実施した結果)

市民は

- ・ 買い物にはマイバッグを使います。
- ・ 環境に配慮した事業者から購入し、買い物を通じて事業者を変えます。
- ・ 商品は無駄にしないよう必要なだけ購入します。
- ・ 使い捨て商品はなるべく買わないで、再生品や分別しやすい製品などを選びます。
- ・ リターナブル容器¹⁾入りなどごみの出にくい商品を積極的に買い、容器の回収に協力します。
- ・ グリーンコンシューマー（買い物から環境を考える消費者）運動をすすめます。
- ・ できるだけ地元産の野菜や、地元産の木材を使用した製品を選びます。
- ・ 自動販売機の利用を控えます。
- ・ 千曲市版環境に配慮した小売店づくりに協力します。

事業者は

- ・ マイバッグ持参者へのサービスを推進します。
- ・ 食品トレーの削減に協力し、市民と協定を結びます。
- ・ 簡易包装に努めます。
- ・ リターナブル容器入りなどごみの出にくい商品や再生品を積極的に売ります。
- ・ デポジット制²⁾を推進し、容器や使用済み製品の回収に努めます。
- ・ ばら売り、量り売りをすすめます。
- ・ ビンの規格化に協力します。
- ・ グリーン購入³⁾を推進します。
- ・ ライフサイクルアセスメント⁴⁾を導入し、分別しやすい製品を開発します。
- ・ 自動販売機の台数を減らします。
- ・ 千曲市版環境に配慮した小売店に参加します。

千曲市は

- ・ マイバッグ持参、食品トレー削減について周知します。
- ・ 全市一斉ノーレジ袋デーを設定します。
- ・ グリーン購入を推進します。
- ・ 市民と協働で千曲市版環境に配慮した小売店づくりをすすめます。

1リターナブル容器：繰り返し使用される容器のこと。日本の代表的なリターナブル容器は、ビールびんと一升びんであるが、他にも独自の規格でさまざまな容器がある。

2 デポジット制：製品価格に一定金額の「デポジット（預託金）」を上乗せして販売し、製品や容器が使用後に返却された時に預託金を返却することにより、製品や容器の回収を促進する制度。

3グリーン購入：商品やサービスを購入する際に必要性をよく考え、価格や品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先的に購入すること。

4 ライフサイクルアセスメント：その製品に関する資源の採取から製造、使用、廃棄、輸送など全ての段階を通して環境影響を定量的、客観的に評価する手法。LCAと略称される。

基本方針 3 「もったいない」を大切にすくらし

長期目標 3-2 『ずく』を出して、ごみを出しません

10年後の目標

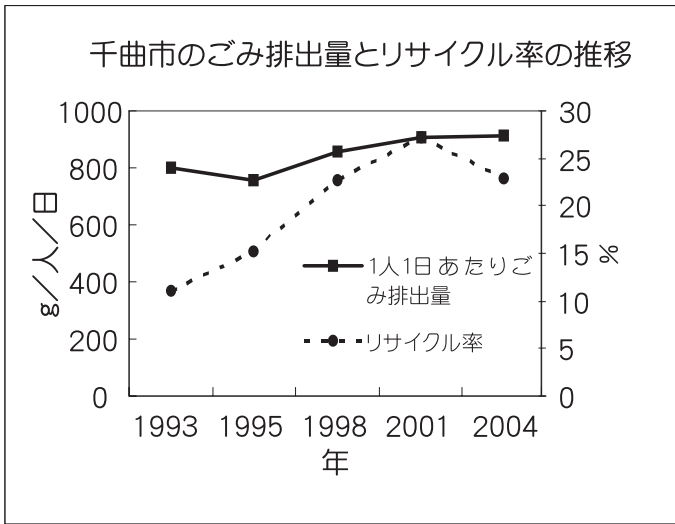
項目	現状値(H16)	10年後(H27)
一人一日あたりのごみの排出量	912g	834g
ごみのリサイクル率	22.9%	44.7%
生ごみ回収量	—	年3,584t

重点プロジェクト① 可燃ごみを削減する

ごみ全般の分別方法や収集方法などを再検討し、可燃ごみの削減を行い、資源化をすすめます。行政と市民による「わかりやすいごみの出し方ガイド」の作成、4R運動、情報公開などによって市民の意識を育み、一人ひとりが『ずく』を出してごみを減らします。(平成16年現在、ごみ1kgあたりの処理費用は31円、年間一人7,721円かかっています。)

重点プロジェクト② 生ごみを資源化する

可燃ごみの重量の中で生ごみは大きな割合を占めています。現在、千曲市では、各家庭からの生ごみなどを堆肥化するシステムづくりを検討しており、生ごみを減らし資源化することを、市民の協力のもと、全市内で展開していきます。



- ### 4Rってどんなこと?
1. Refuse/リフューズ(断る)
不要なものは断り、購入しない。
 2. Reduce/リデュース(減らす)
ごみを減らす努力をする。
 3. Reuse/リユース(再利用する)
ものをくりかえし使う。
 4. Recycle/リサイクル(再資源化)
資源として再利用する。



活動紹介

活躍しています！分別アドバイザー

現場に立つようになって1年半。今では常連さんとも笑顔で挨拶ができるようになった。はじめはごみ出しのマナーに地域差があることがすごく気になった。心をオニにして「この次からは気を付けてくださいネ。」と声掛けをした。この頃気づいたことがある。それは、出す人と集める人のコミュニケーションが大事であること。「この次は気を付けるネ。」と笑顔が返ってくる。まちのあちこちにできたごみ収集所が無人でもよい日が来ることを望んでいます。（笠井雪子さん）

市民は

- ・ ごみの分別を徹底します。
- ・ ごみになるものは持ち込まないようにします。
- ・ ものの寿命を活かした使いかたをします。
- ・ 不要になったものの資源化に努めます。
- ・ 優良堆肥がつかれるよう、生ごみの分別・回収に協力します。

事業者は

- ・ ごみの分別を徹底し、廃棄物は適正に処理します。
- ・ ものの寿命を活かした使いかたをします。
- ・ 不要になったものの資源化に努めます。
- ・ 容器や使用済み製品の自己回収に取り組みます。
- ・ 一定規模以上の廃棄物を排出する事業者は市に届け出をし、ごみ削減計画を作成します。

千曲市は

- ・ ごみを削減するために、分別方法などの見直しをすすめます。
- ・ 可燃ごみの処理コストの実情を公表し、完全有料化を検討します。
- ・ 分別アドバイザーと協力して、分別の徹底をすすめます。
- ・ 資源ごみの回収とバイオマス¹・リサイクル・システム（せん定枝、生ごみなどのリサイクル）などの有効活用をすすめます。
- ・ 一人暮らしのお年寄りや身体障害者のごみの回収方法を検討します。
- ・ ごみ削減などに関する表彰制度を実施します。
- ・ 集められた可燃ごみや資源ごみがどこでどうなるのか、最終処分までを明らかにするなど、情報公開や周知に努めます。
- ・ 市民と協働で、ごみ削減のためのパンフレットや、「わかりやすいごみの出し方ガイド」を作成します。
- ・ フリーマーケット、リサイクル広場などを支援し、再生品の利用拡大を図ります。
- ・ 事業系ごみの分別指導を行います。

¹ バイオマス：もともと生物（bio）の量（mass）のことであるが、今日では再生可能な、生物由来の有機性エネルギーや資源（化石燃料は除く）をいうことが多い。エネルギーになるバイオマスの種類としては、木材、海草、生ごみ、紙、動物の死骸・糞尿、プランクトンなどの有機物がある。バイオマスエネルギーはCO₂の発生が少ない自然エネルギーで、古来から薪や炭のように原始的な形で利用されてきた。今日では新たな各種技術による活用が可能になり、化石燃料に代わるエネルギー源として期待されている。

基本方針 3 「もったいない」を大切にすくらし

長期目標 3-3 不法投棄、ポイ捨てをしません

10年後の目標

項目	現状値(H16)	10年後(H27)
不法投棄の回収	年16,430t	年8,200t
「ごみゼロ運動」への参加者	年10,000人	年20,000人

プロジェクト① 不法投棄の監視を強化する

パトロールの実施等監視体制の強化や市民への啓発により、不法投棄を減らしていきます。また誰もが通報しやすいしくみをつくり、早期発見を図ります。

プロジェクト② ポイ捨てや憤慨(フン害)対策をすすめる

ポイ捨てやペットのフンの放置の問題は、市民一人ひとりの行動によって解決します。市民への啓発に努め、理解を深めて、行動につなげていきます。また市内各地で随時行われている清掃活動をネットワーク化したり、「ごみゼロ運動」を実施して、地域ぐるみの環境美化活動に取り組みます。

重点 プロジェクト③ 環境に配慮したエコイベントを開催する

千曲市内のさまざまなイベントが、環境に配慮して行われるように努めます。なるべく自動車を使わずに参加できるよう工夫する、リユース容器を使う、ごみ袋を有料で配布するなど、環境に配慮した、ごみが少ないイベントを目指します。



千曲市内山林の不法投棄のごみ

治田小学校4年1組
『治田さわやかエコクラブ』による
治田公園のごみ調べワースト5!

- 1位 タバコ 616個
- 2位 ビニール袋 131個
- 3位 ガラスのかけら 123個
- 4位 紙ごみ 100枚
- 5位 アルミ 84個

「大人のタバコのポイ捨てが多くてびっくりしました。」との発表がありました。

平成16年子ども環境サミット

エコイベントってどんなこと？ たとえば・・・



市民は

- ・ 不法投棄を発見したときは通報に協力します。
- ・ ポイ捨てしません。
- ・ ペットのフンは責任を持って処理します。
- ・ 市内一斉「ごみゼロ運動」に参加します。
- ・ イベントを企画し実施する際には環境に配慮します。

事業者は

- ・ 不法投棄を発見したときは通報に協力します。
- ・ 産業廃棄物は、マニフェスト管理¹⁾を行い、法令に定められた方法により適正に処理します。
- ・ 市内一斉「ごみゼロ運動」に参加します。
- ・ イベントを企画し実施する際には環境に配慮します。

千曲市は

- ・ 市内一斉「ごみゼロ運動」を行います。
- ・ 不法投棄を減らすため市報等での啓発に努めます。
- ・ 不法投棄パトロールと通報のしくみを充実させます。
- ・ 粗大ごみの回収方法を工夫します。
- ・ 廃棄物の適正処理の啓発に努め、必要に応じて指導を行います。
- ・ イベントを企画し実施する際には環境に配慮します。
- ・ エコイベントのマニュアルをつくり、市民や事業者に広めます。

¹ マニフェスト管理：産業廃棄物の収集・運搬や中間処理（無害化や減量化などの処理）、最終処分（埋め立て処分）などを他人に委託する場合、排出者が委託者に対して「マニフェスト（産業廃棄物管理票）」を交付し、委託した内容通りの処理が適正に行われたことを確認するための制度によって管理すること。

基本方針 3 「もったいない」を大切にすくらし

長期目標 3-4 水資源を大切にし、有効活用します

10年後の目標

項目	現状値(H16)	10年後(H27)
市民一人あたりの水道使用量	年104 m ³	年93 m ³
雨水の有効利用	17件	34件

重点 プロジェクト① 水資源を大切にすくらしして節水をすすめる

水の大切さに気づき、節水を心がけるような情報を提供します。また打ち水大作戦等節水をすすめるような市民の取り組みやアイデアを応援します。

プロジェクト② 雨水や温泉水のお湯を活用する

雨水や温泉水を有効に活用するための市民の取り組みやアイデアを応援します。また災害時の備え、という観点からも、活用を検討します。



解説

世界に広がる「もったいない」の心

日本人は昔から、物をむだにしてしまったら「もったいない」と残念に思ったり、人から物をもらったら「もったいない」とありがたく思ったりと、とても物を大切にしてきました。その背景には、私たちの生活を支えてくれる「いのち」への感謝の気持ちがあります。江戸が世界に類を見ない高度な循環型都市であったことは有名ですが、そこまでさかのぼらなくとも、私たちの生活はほんの50年ほど前まで、捨てるものの少ない「もったいない」の心が生きている生活でした。そして生活が大きく変わってしまった今、この「もったいない」ということばが見直されています。

- ケニア出身の環境保護活動家であるワンガリ・マータイ女史は、平成17年に京都議定書関連行事のため日本を訪問したときにこのことばを知り、日本人が昔持っていた「もったいない」の考え方こそ、環境問題を考えるにふさわしい精神として感銘し、世界各地に「もったいない運動」を呼びかけました。「もったいない」の心が、環境にやさしい社会をつくり、地球温暖化などの環境問題を解決する大きな一歩になることが期待されています。

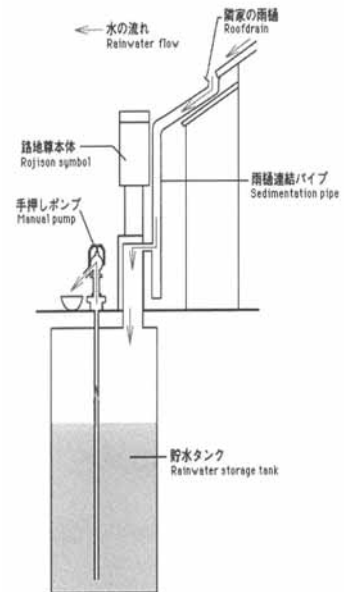
事例紹介

墨田区の雨水利用システム『路地尊』

路地尊（ろじそん）は、近隣の住宅の屋根に降った雨を集水して、地下のタンクに貯めるシステムです。草花への水やりやこどもの水遊びの場として、また災害時の水源として地域で活用されています。（写真および図：災害時にも使えるよう、手押しポンプで水をくみ上げます。）

路地尊は、路地の安全を守るシンボルです。名前の由来は「地域のコミュニティの場であり、災害時には避難路になる路地を大切にしながら自分たちの手でまちを守ろう」という防災まちづくりの考え方から、その名が付けられました。

- 雨水には消毒用の塩素が入っていないので、野菜や草花を育てる水として、また金魚などの飼育用にも役立っています。
- （出典：墨田区の公式ホームページ）



市民は

- 節水に努めます。
- 雨水タンクを設置するなど、雨水利用をすすめます。
- 雨水、地下水を有効に利用します。

事業者は

- 節水に努めます。
- 事業所に雨水タンクを設置するなど、雨水利用をすすめます。
- 大きい屋根の施設をつくる際には雨水利用システムを設置します。
- 工場などで、水の再利用システムを導入します。

千曲市は

- 水の大切さを周知し、節水を推進します。
- 公共施設には雨水利用システムを導入します。
- 市民から雨水や温泉湯の活用方法を募集し、情報提供・実施促進に努めます。